

2023  
6  
June  
Vol.87

SNSで旬な情報を  
投稿しています



# JAしまねびより

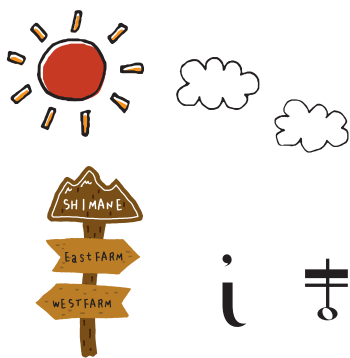
特集 有機農業への挑戦



町につけた  
しまねのファーマーズ  
Shimane farmers

殿山 正記さん  
[石見銀山地区本部]

JALしまね 西いわみ地区本部版



# みつけた しまねのファーマーズ

Shimane farmers



## とのやま まさき 殿山 正記さん(55歳)

今月は石見銀山地区本部。大田市温泉津町井田地区でメロン栽培に取り組んでいる殿山正記さん(55)にお話を伺いました。



殿山さんが管理するメロンハウス

### 就農バスツアーがきっかけで メロン農家に

大田市温泉津町井田地区。山間部にあるのどかなこの地域は、知る人ぞ知る「ゆのつメロン」の生産地です。この地区で春・秋と1年に2回のメロン栽培を行っている殿山さん。10年前、出身地の神奈川県で会社員として働いていた際に、妻の裕子さんと「このまま会社員として働くのではなく、そろそろ次のステップに進もうか。できれば2人で一緒にできる仕事がいいね」と話していました。ちょうどその頃、立ち寄った東京都・銀座(当時)にある島根県のアンテナショップで、東京都と大阪府を発着とする島根県への就農相談バスツアーのことを知ります。「自分でメロンを作ることができるなんて」と興味を持った殿山さん夫妻。バスツアーに参加し現地を見学した際に、研修場所や補助金など新規就農に関する行政や地域の支援が手厚かったこと、そして地元の人々が歓迎してくれていることを実感。2013年に大田市へ移住しメロン栽培の研修を始めました。

### メロンのトロ箱栽培

ここ温泉津町井田地区では、トロ箱栽培という方法でメロンを育てています。トロ箱とは、漁業用に使用する発泡スチロールのこと。少量の土が入ったトロ箱に苗を定植させ、チューブで栄養入りの水分を与えながら育てていきます。殿山さんが栽培しているのは、香り豊かで甘みがたっぷりの「アムスメロン」。この品種は木や実が弱いため病気にもなりやすく、他の品種より一層気を遣いながら育てる必要

があるそう。殿山さんはここ2、3年でやっと感覚が掴めてきたようですが、一筋縄ではいかない大変さも実感しています。

また、近年は高齢化に伴い農家は減少、さらに、悪天候なども影響して安定供給の難しさは課題の一つです。それでも殿山さんがずっと続けられているのは、メロン栽培が「おもしろい」から。需要と供給のバランスや栽培管理など、目の前の課題に立ち向かいながらも前向きに取り組んでいます。

### 都会地にはほとんど出回らない 幻のメロン

「アムスメロン」は出荷日から3〜4日で柔らかく食べ頃になります。そのため、関東・関西への輸送には向いておらず、ほとんどが中国地方の市場への出荷や直接配達される贈答用として取り扱われています。毎年、注文受付を始める、都会に住む子どもに送るといふ人や、地元の人々を楽しみに待っている人たちが問い合わせが多く寄せられ、注文数に追いつかないこともあるほどの人気ぶり。

しかし市場では、ネット系のマスク(アールスメロン)に比べ、どうしても価格を低くつけられてしまう傾向があるといえます。「一般的なメロンのイ



発泡スチロールを使ったトロ箱栽培

メージであるネット系に負けないくらい、このメロンは「甘い」と胸を張ってアピールする殿山さん。さらに、所属している温泉津町施設園芸組合では、安心・安全な農産物を証明する県版GAP「美味しまね認証」を取得。「ゆのつメロン」の価値を上げていくことを目指しています。



まんまと実ったアムスメロン

## 猫との時間が癒し



殿山さんにとって、家で飼っている猫たちと戯れる時間が何よりの癒し。もともと、保護猫だった2匹を引き取って飼い始め、今では5匹に。「2匹だった時は、車で神奈川県の実家に連れて帰ったり、旅行にも出掛けていましたが、5匹だとそうもいかず…。最近はずっと遠出ができません」と笑いながら語る殿山さん。数年前に購入した家で、のびのびと猫たちとの暮らしを楽しんでいます。



殿山さんと暮らす猫たち

## 大切な地域を守りたい気持ち

移住を決めた理由の一つでもあるのが「井田地区の人のあたたかさ」。殿山さんの人柄もあって今ではすっかり地域に溶け込み、農業のことはもちろん、その他のことも気軽に教えてもらえる大切な存在です。その代わり、地域内でも若い方である殿山さんは、積極的に草刈りなどに参加し、お互い助け合える良い関係性が築かれているそう。また、妻の裕子さんは農業の傍ら地域タクシーや食堂、地域の農産品の商品開発などに関わり、地域活性化にも取り組んでいます。



取材をしていると自治会長さんからのどくろのお裾分けが…!

## ゆのつメロンのおいしさを知ってもらいたい

現在管理しているハウスは7棟。夫妻で作業するのは手一杯で、殿山さんは「あとは品質を上げていくことに力を入れたい」と話します。今後は、自分たち



メロンの栽培管理に汗を流す殿山さん

や地域の農家が存続していくためにも、「ゆのつメロン」の価値を上げ、価格を向上させていくことが目標だと意気込んでいます。「まだ知名度が低いこの『ゆのつメロン』を、もっと多くの人に知ってもらいたい」と、情報発信の方法やブランド化への構想も広げていきたい考えも持っています。「おそらく、島根でも『ゆのつメロン』を知っている人は少ないと思います。寒暖差が大きいこの井田地区で、手間暇かけて丁寧に育てられたメロンは、甘みが凝縮されておいしいんです！」と、自信を持っておすすめする殿山さん。今後の新たな展開にも注目です。



ひとつひとつ手作業でツルを上へ誘引することで日当たりが良くなり、作業もしやすくなります

## ゆのつメロン

プチっと情報!

「ゆのつメロン」は大田市温泉津町のさわやかな気候の中で育った、香り豊かで自然な甘みがたっぷりのメロン。太陽の光をたくさん浴びせるために手間暇のかかる立体栽培で育てるなど農家の皆さんのこだわりが詰まっています。出荷から3~4日が食べ頃で、食べる前に冷蔵庫で3時間程度冷やすとより一層おいしく食べられるのだそう…。ぜひ皆さんも食べてみては…😊



# への挑戦



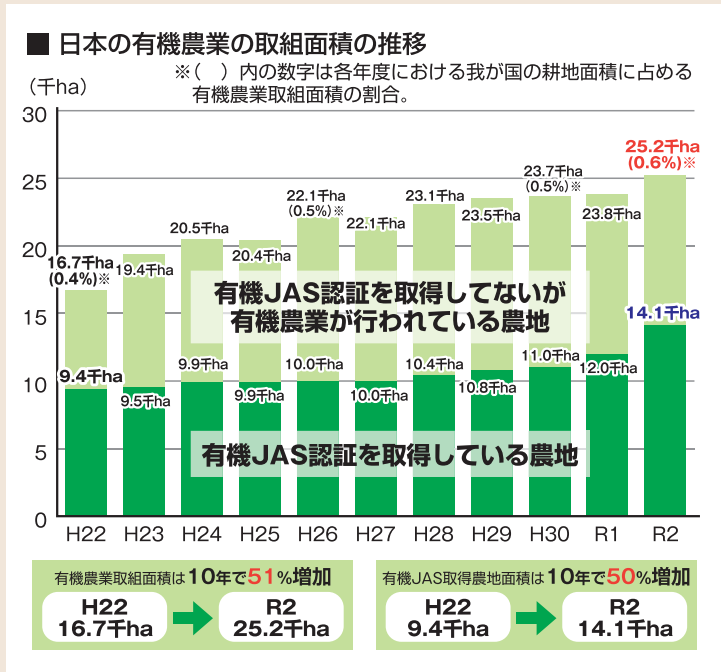
低減などを進める「みどりの食料システム戦略」や、肥料を始めとした生産資材高い品目を中心にモデル実証を行い、段階的に生産を拡大していきます。そこで、

## まずは…有機農業って？

我が国において、有機農業とは「有機農業の推進に関する法律」で「化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業をいう」と定義されています。

### 日本の有機農業の取り組み面積

日本の有機農業の取り組み面積は過去10年で約5割拡大し、有機JAS認証を受けている農地の取り組み面積が拡大傾向にあります。  
(出展：農林水産省「有機農業をめぐる事情」より)



### 有機食品の認証制度(有機JAS認証)について

有機食品の検査認証制度は、JAS法(日本農林規格等に関する法律)に基づいて、有機JASに適合した生産が行われていることを第三者機関が検査し、認証された事業者には「有機JASマーク」の使用を認める制度のこと。堆肥などによる土作りを行い、播種・植付け前2年以上及び栽培中に(多年生作物の場合は収穫前3年以上)、原則として化学的肥料及び農薬は使用しないことや遺伝子組換え種苗は使用しないことが生産方法の基準となります。

有機JASマーク



有機JASマークが付されていない農産物、畜産物、加工食品は、「有機〇〇」「オーガニック〇〇」と表示することができません。  
(例：有機ホウレンソウ、オーガニックトマトなど)

### JAS法とは？

食品などに規格を定めて普及することで品質の改善を図り、適切な表示をして、消費者が食品などを選択する際の助けとなるようにする法律。



## 有機カボチャの取り組み

今年度から有機カボチャの実証試験生産が始まっており、出雲市と雲南市の生産者5名が合計約70アールで取り組んでいます。栽培されたカボチャは兵庫県の野菜大手総合商社への出荷が決まっており、販売先を確保した上での取り組みがポイントです。将来的には県内で100トン規模の産地化を目指します。

4月下旬にはパイヤーとともに産地巡回を行いました



関係者が集まり栽培・出荷に向け、研修会を開きました



ここに注目！

### 有機JASをチームで取得へ

有機JASは生産者(経営体)ごとに認証を受けることが一般的ですが、この取り組みでは生産者とJASしまねが一体となった「有機カボチャ生産団体」として、認証の取得を目指します。

そうすることで、生産者が各自で認証を取得する必要がなく、事務面や技術指導、出荷段階などでJASが責任をもって対応していくことができます。また、生産者の認証取得に係る経費負担が軽減されるメリットもあります。



# 有機農業

今月号の特集は「有機農業」について。JAしまねは、国が策定した環境負荷の急激な値上がりなどを背景に有機農業の推進に踏み出しました！実需者ニーズの今年度から本格的に始まる取り組みについて紹介していきます😊✨

## 有機米の取り組み



近年、消費量の減少などでお米の市場価格が低迷し厳しい状況が続いています。JAしまねでは、より付加価値が見込める有機米に着目。今年度は斐川、雲南、島根おおち地区本部管内の3か所に合計約70アールの実証試験ほ場を設置するとともに、有望な販売先の確保に取り組んでいます。来年度以降、県内全域での有機米生産の拡大を目指しています。



ここに注目！

### 最大の敵「雑草」

有機米を栽培する上で課題となるのは何と言っても「雑草対策」。近年は、さまざまな抑草技術や除草技術が取り入れられています。安定的な除草等の効果を得るためには、経営規模、水田ほ場や労働力などの状況から、適切な抑草技術や除草技術を選択することが重要です！



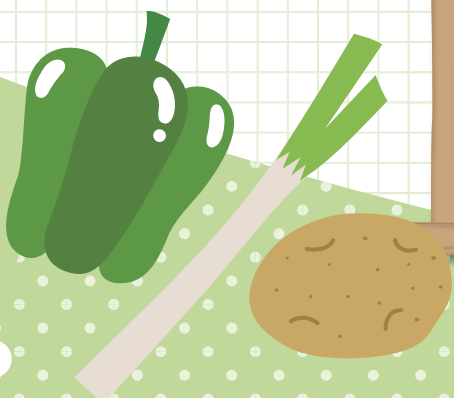
さまざまな水田除草機

## 関係機関との連携

産地づくりに向け、昨年12月には島根県と楽天農業、JAしまね、県内西部地域の9市町と「有機野菜の産地づくりに関する連携協定」を締結。楽天農業の参入に伴い、各関係機関や既存の有機農家と連携し、新規就農者など有機農業の人材育成を進めます。また、今年2月には、島根大学とも連携協定を結び、同大学の持つノウハウを活かした有機農業に関わる実証研究にも取り組みます。



JAしまねの有機農業への挑戦はまだまだ始まったばかり。数年後には、より多くの人に島根県産の有機農産物を食べてもらえるよう、JAしまねは、生産者や関係機関と連携し有機農産物の販路開拓、消費者への理解増進などに取り組み、有機農業の拡大を進めていきます！



JAしまねの石川寿樹組合長ら本店常勤理事は、JA自己改革の一環として、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJA運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。



現場の声を  
お聞きしたい

# 組合長が行く！



今月の  
訪問先

- JAしまね島根おおち地区本部管内
- 農事組合法人小田宮農組合
- おーなんアグサポ隊

今回は、農事組合法人小田宮農組合とおーなんアグサポ隊を石川寿樹組合長ら本店常勤理事が訪問し、現場の「生の声」を伺いました。農事組合法人小田宮農組合は、江津市桜江町で水稲や大豆、飼料用稲(WCS)、園芸作物などを栽培する同町唯一の大型法人。大規模区画で大型機械やヘリコプターを導入し、コスト低減と作業の効率化を図っています。また、島根おおち地区本部が取り組んでいる、水害が頻発する江の川流域での梅雨前に収穫が可能なタマネギ栽培にも今季から挑戦されています。

同法人の有田高士代表理事組合長は、水稲やタマネギの追肥作業などの労力を軽くするためドローンの導入を検討していることやタマネギ・大豆・飼料用稲(WCS)による2年3作のブロックローテーションに取り組んでいることなどを説明。同JAの石川組合長は「昨年、広域玉葱調製保管施設が完成し今年から本格的に始動する。ぜひ良いタマネギを

作っていただきたい」と話しました。おーなんアグサポ隊は、新規就農者の確保・移住促進に力を注ぐ邑南町が行う独自の農業研修制度。研修生は地域おこし協力隊として同町で3年間生活し、任期中に就農に必要な栽培技術や経営の知識を学びます。研修では、管内の主要品目である白ネギやミニトマト、花の他、同町が産地化を目指す県オリジナルのブドウ品種「神紅」などを学ぶ「ぶどうコース」も設置。就農サポートとして、研修と同時に研修生ごとのリースハウスでブドウの定植・育成を行い、就農2年目から収穫ができるリースハウス事業を県と町、JAで展開しています。



同法人の有田代表理事組合長(左から3番目)と石川組合長(左から4番目)ら



同地区本部が推奨するタマネギ機械化体系技術を導入し栽培管理されています



取り組み内容を説明する同法人の有田代表理事組合長(右)

研修施設を見学した後、今年3月に研修を修了し、4月からブドウで自営就農したおーなんアグサポ隊7期生5名との意見交換会を行いました。7期生からは「神紅」は着色が難しくどうしても規格外品がでてくるため、JAでの買い取りなど対策を考えてほしい」「リースハウスの着工を早めに取り掛かってほしい」など多くの意見をいただきました。

おーなんアグサポ隊は、新規就農者の確保・移住促進に力を注ぐ邑南町が行う独自の農業研修制度。研修生は地域おこし協力隊として同町で3年間生活し、任期中に就農に必要な栽培技術や経営の知識を学びます。研修では、管内の主要品目である白ネギやミニトマト、花の他、同町が産地化を目指す県オリジナルのブドウ品種「神紅」などを学ぶ「ぶどうコース」も設置。就農サポートとして、研修と同時に研修生ごとのリースハウスでブドウの定植・育成を行い、就農2年目から収穫ができるリースハウス事業を県と町、JAで展開しています。

研修施設を見学した後、今年3月に研修を修了し、4月からブドウで自営就農したおーなんアグサポ隊7期生5名との意見交換会を行いました。7期生からは「神紅」は着色が難しくどうしても規格外品がでてくるため、JAでの買い取りなど対策を考えてほしい」「リースハウスの着工を早めに取り掛かってほしい」など多くの意見をいただきました。



活発に意見交換を行いました



研修生が快適に過ごせるようにトイレ・シャワー・エアコンなどが完備されたコンテナハウスも設置しています



アグサポ隊の研修用ハウスで「神紅」の栽培方法について説明を受ける役員ら

## 組合長から一言



令和5年度に入って、初めての地区本部巡回。今回は島根おおち地区本部の農事組合法人「小田宮農組合」と「おーなんアグサポ隊」を訪問させていただいた。最初の訪問先は、江津市桜江町の農事組合法人「小田宮農組合」。過去、幾たびの水害に見舞われたが、見事に復活され、水稲22.2haを中心に、大豆4.4ha、WCS5.6ha、園芸1.8ha(うちタマネギ1.0ha)の2年3作のブロックローテーションに取り組まれていた。次に訪問したのは「おーなんアグサポ隊」。邑南町では独自の農業研修制度を導入し、新規就農者の確保や移住促進に注力されている。特に、島根県が開発したブドウの新品種「神紅」の産地化を目指しておられ、令和2年度よりこの3年間で2.7haのリースハウスが整備され、今後10haを目指して整備が進められている。今回、3年間の研修を終え、今年4月より自営就農された5名のアグサポ隊卒業生さんと意見交換する機会を得た。いずれも県外からの移住者で、ブドウ作りにおける情熱は並々ならぬものがあった。今後、JAしまねとしても、地元の島根おおち地区本部と連携し、最大限の支援を行わせていただくことを約束し、意見交換会を終えた。



巡回の様子を収めた動画はコチラ

組合長より一言  
葡萄づくり  
に  
賭ける若人  
山若葉



topics  
1

## JAしまね女性部が通常総会を開催



JAしまね女性部は4月27日、出雲市の朱鷺会館で第6回通常総会を開きました。2022年度活動報告や収支決算、2023年度活動計画などの全5議案を承認しました。

2023年度は、部員らが玄米を持ち寄り子ども食堂やフードバンクへ寄贈する「米一握り運動」の継続や、同JA役員との意見交換会を通じたJA運営への女性参画などに取り組んでいきます。また、7月には松江市のホテル玉泉を主会場に「中四国地区JA女性組織リーダー研修会」を開きます。

役員改選では部長に高橋美佐子さん（再・雲南女性部）、副部長に諏訪智子さん（新・くにびき女性部）、元岡タツ子さん（新・西いわみ女性部）を選出。高橋部長は「今回の役員改選では、若い世代へ交代となった。担い手の育成を図るとともに、部員同士が手を携えて取り組んでいきましょう」と呼びかけました。

総会後は、同JA出雲女性部の今岡千恵子さんが『「信頼、思いやり、感謝」手と手をつなげよう女性部活動』と題し活動を発表しました。また、世田谷目黒農業協同組合より床爪晋相談役を講師に迎え「安心な相続・贈与手続きについて」と題した講演も行いました。参加した女性部員は「相続についてまさに悩んでいたところ。とてもためになった」と話しました。



開会のあいさつをする高橋部長

topics  
2

## 安来市、JAしまね、東洋ライスが包括連携協定を締結



安来市とJAしまね、東洋ライス株式会社は10日、同市の同市役所で三者による包括連携協定を締結しました。同市産を始めとした県産米を活用した農業振興や健康増進、食育の推進などを通じ、地域社会の発展に向けた取り組みを進めていきます。

協定には①農業振興②健康増進③食育④地産地消⑤環境保全⑥三者が必要と認める事項——に関する6つを盛り込みました。最初の取り組みとして、6月5日から同市内の全公立小中学校と幼稚園1園（計2,658人分）の給食に使う米を健康機能性に優れた「金芽米」に切り替えます。週4回の給食に登場し、年間約36トンの同市産「さぬむすめ」を原料とした「金芽米」を使う予定です。

「金芽米」は、東洋ライスが開発した独自の加工技術により、ビタミンやミネラルなどの滋養源である玄米の栄養を残したまま良味を兼ね備えているのが特徴。県内では同JAやすぎ地区本部の精米センターでのみ加工ラインを導入しており、年間350トンの「金芽米」を加工しています。

同日の締結式には、同市の田中武夫市長や同社の雑賀慶二代表取締役、同JAの石川寿樹組合長らが出席。石川組合長は「さらなる県産米の地産地消を進められるよう三者で協力していく。また、この輪が県内全域に広がるようしっかり取り組んでいきたい」と意気込みました。



協定を締結した雑賀代表取締役（左）、石川組合長（中央）、田中市長（右）

topics  
3

## 島根中酪株式会社「中酪コーヒー」リニューアル



島根中酪株式会社は5月13日、同社商品「中酪コーヒー」のパッケージをリニューアル販売しました。パッケージは長年親しまれたパッケージのイメージを守りつつ、昨年度新たに誕生した同社オリジナルキャラクター「ちゅーちゃん」と「らくちゃん」を全面的に押し出しています。

同社はオリジナルキャラクターを活用して商品のブランド力を高めようと、昨年度から商品リニューアルに取り組んでいます。これまでに宅配を中心に販売していた2商品「ちゅーちゃん・らくちゃんシリーズ」としてリニューアルしています。



PRする角田部長

第3弾となる「中酪コーヒー」は、約40年ぶりにパッケージを一新。次世代の購買層である若い世代や子どもにも飲んでほしいとリニューアルを決めました。

また、焙煎されたコーヒー豆を仕入れ、その日の製造分のみを抽出する「自社ドリップ」の特徴が伝わりにくいといった声もあり、新たなパッケージでは特徴を伝えるメッセージを掲載し消費者へPRします。

同社営業部の角田祐子部長は「今回のリニューアルでさらに多くの方に地元の中酪コーヒーを飲んでほしい。今後はオリジナルキャラクターを使った販促物も作って認知度を上げていきたい」と話しました。



これまでにリニューアルした商品

**目次情報**

同社のホームページでは、商品紹介やギフトセットの購入ができます😊また、インスタグラム、Twitterでも情報発信していますので要チェックですよ！



想いをひとつに✿ しまねの女性部!

## 西いわみ女性部

JA女性組織3カ年計画  
「JA女性 想いをひとつに かなえよう✿」  
の実践2年目です。

つながろう✿ まもろう✿ かがわろう✿  
の3つの具体的目標を掲げ活動します。

つながろう✿

仲間と・地域と・他組織と・次代と

JAしまね西いわみ女性部は「みんなで楽しく仲間づくり」をモットーに12支部で活動しています。手作りのハム作りに取り組んでおり、美味しいハム作りが部員同士の交流や親睦につながっています。

女性部員が作った安全・安心で新鮮な季節野菜や山菜などを、毎週保育園や保育所に納入し、野菜、山菜についての紹介や食べ方などを説明し、園児たちとの交流を図っています。

また、JA役職員との意見交換会やグラウンドゴルフ親睦大会も行っており、JAと女性部が共通の認識を持つことで活性化と仲間づくりができています。

今年度はミニデイサービスなどを通して地域とのつながりを深めた活動をしていきます。



地産地消に取り組み、  
農業を通じて、  
地域に貢献して  
いきたい

一所懸命青年連盟

## JAしまねくにびき青年連盟

JA YOUTH

わたなべ たくや  
渡部 卓也さん



JAしまねくにびき青年連盟（以下、農青連）の渡部卓也さん（45）は、松江市八幡町でイチゴを栽培しています。前職はコンビニ経営をしていた渡部さん。家族との時間を大切にしたいという思いから転職を決意し、3年間の研修期間を経て令和4年に就農しました。栽培を始めて一作物ということもあり、色々とうまくいかず苦労することも多い一方で、「出荷先や消費者から予想以上の反響をいただいている」と話します。

研修先の農家が農青連で委員長を務めていた縁もあり、就農とほぼ同時に農青連へ加入しました。イベントにも積極的に参加しており、盟友との情報交換の場として農青連に期待していると話します。

渡部さんは「就農したばかりでまだまだ知名度が足りていない。多くの方にファンになってもらえるよう、高品質のイチゴを安定して生産できるよう精進したい」と抱負を語りました。



## 開催案内

# 令和5年度 水稲生産者大会

## ～持続可能で売れる米づくりに向けて～

県内の水稲生産者を対象に「水稲生産者大会」を開催します。近年の温暖化による水稲の収量・品質低下などの課題に対して、土づくりや肥培管理のポイントについて、専門家による解説を行います。JAしまね本店斐川事務所をメイン会場にWEB会場も設けますので、生産技術の更なる向上による良質米の生産に向けて、ぜひご参加ください。

**日時** 令和5年 **7月6日(木)** **13時30分～16時00分**

**会場** メイン会場：JAしまね 本店 斐川事務所 2階大会議室  
WEB会場：県内10ヶ所（詳しくはお問い合わせください）

**講演内容**

- 「温暖化に負けない土づくり・米づくりの要点」 講師：島根大学 松本真悟教授
- 「収量・品質・食味を高める栽培のポイント」 講師：島根県農業技術センター
- 「つきあかりの特性について」 講師：島根県農業技術センター

**問合せ先** 各地区本部の水稲指導担当部署



## 事業承継セミナー ～誰でもいつかは事業承継～

### 概略

事業承継の意味を理解して準備することで、後継者は事業承継を失敗せず、理想的な承継を実現することができるようになります。本セミナーでは、事例を検討しながら事業承継や後継者経営が失敗する理由を掘り下げ、事業承継の本質と全体像、事業承継に向けてやるべきことをわかりやすく学んでいただけます。

### 開催日時・会場

日時：2023年7月27日（木） 13：30～15：30  
会場：下記のいずれかでご参加（お申込）下さい。

- ①メイン会場：JAしまね 本店 斐川事務所（営農経済本店）  
1階会議室（出雲市斐川町直江5030）
- ②WEB会場：JAしまね各地区本部会議室  
（申込後別途連絡）

### 対象者

事業承継にご興味のある農業者の方であればご参加いただけます。

### 主催

島根県農業協同組合

### 共催

農林中央金庫 岡山支店

### 講師紹介

講師：大川原 基剛

【役割】

- 株式会社後継者の学校代表取締役
- 株式会社B G取締役
- 一般社団法人軍師アカデミー理事

【資格等】

- 中小企業診断士
- 経営者の軍師認定コンサルタント
- 中小企業事業再生マネージャー（TAM）
- PHP認定ビジネスコーチ
- SCP認定ビジネスファシリテーター

参加費無料

### ■参加申込に関するお問い合わせ先■

島根県農業協同組合 営農対策部 営農企画課  
TEL：0853-25-8142 FAX：0853-25-8594  
E-mail：ei-kikaku.hon@ja-shimane.gr.jp

提出いただいた個人情報は、当セミナーに必要な範囲でのみ使用いたします。

※①メイン会場の定員は20名までとなります。最寄りの地区本部会議室でのご参加にもご配慮願います。

## 理事会情報（5月2日開催）

### 【協議事項】

- ①安来市、JAしまね及び東洋ライス株式会社の包括的連携協定の締結について
- ②「令和6年度島根県農業政策および予算に関する要望」の進め方について
- ③令和5年産島根米 生産・集荷・販売方針について
- ④令和4年度島根米需要拡大事業取組み実績ならびに令和5年度の取組み計画について
- ⑤子法人（農機事業領域会社）の設立及び出資について
- ⑥島根県農業信用基金協会への特別出資について
- ⑦プロジェクト（①自燃会社化②HC連携③米粉・有機）メンバー及び協議のすすめ方について
- ⑧目的積立金の取崩について
- ⑨令和4年度決算について
- ⑩令和4年度決算にかかる剰余金処分について
- ⑪JA島根電算センターの事業改革（事業領域拡大）にともなう株式会社（子会社）の設立及び出資について
- ⑫組合と理事との取引（契約）の承認について（都度承認分）
- ⑬第2次運営体制検討委員会の設置について
- ⑭自己改革工程表の策定について
- ⑮島根県常例検査書（くにびき地区本部）の回答について
- ⑯島根県常例検査書（本店）の回答について



## 移動スーパー とくし丸稼働開始

5月10日、益田市遠田町Aコーププラポ店の店頭において、AコープやJAの職員が見守る中、移動スーパーとくし丸24号車の出発式が行われました。

出発にあたって、主催者であるAコープ西日本の小笹浩史（おごさひろちか）代表取締役社長は、「高齢化でご来店いただくことが困難な方が増加している中、Aコープは地域密着型のスーパーマーケットでなくてはならない」とこの事業の必要性について述べ、来賓として出席したJAしまね西いわみ地区本部の田村清己本部長は「来店者数の減少を課題とするAコープ側と、JAの地区別座談会で出席者から出た意見が合わり、この事業が計画され、販売パートナーであるオーナー（経営者）の募集など、4年間の準備期間を経て今日を迎えることができた。この事業に大きな期待を寄せている」と述べました。



とくし丸24号車オーナーの和井元隆さんは、JAしまね西いわみ地区本部の元職員で、「事業推進等で訪問した際、高齢で買い物にも出られず困っている方の存在を知り、当時から何らかの力になりたいと思っていた」と今回の決断に至った思いを語りました。とくし丸24号車は、店頭で販売している生鮮食品から日用雑貨まで、400品目1,200点を積み込んで自宅前で実際に見て、選んで買い物ができる移動式Aコープです。初日は市内東部方面を巡回し、自宅近くに停車した販売メロディーを耳にした人達が商品を手にしては購入していました。





1.5ヘクタールの圃場が2時間程度で植え付け完了

スマート農業は組織継続の「鍵」

この程、鹿足郡吉賀町の農事組合法人ごんごんじいの郷（井川津多夫代表理事）が、アグリロボ無人田植え機を導入し田植えを行いました。

地元真田地区の水田は、1区画1ヘクタールを基本とした圃場整備事業によって、縦に150m以上ある圃場に2m幅の管理畦畔が設置されています。

同法人は設立当初の計画に沿って、ロボット技術や給排水を遠隔操作できるWTARASなど、情報通信技術を活用したスマート農業の導入に積極的に取り組んでいます。

今回導入したアグリロボ無人田植え機の自動運転機能によって、田植え作業の少人数化と作業効率の更なる向上が期待されます。

この日は補助員が苗や肥料の補充に備える傍らで、オペレーターも畦畔に立って田植え機の作業を見守っていました。

井川代表は「今後も高収益作物への転換や、スマート農業の導入で労力の軽減を図り、自信をもって次世代へ渡せる組織となるよう、組合員一丸となつて努力していきたい」と語られました。

五穀豊穡を祈る御田植祭



5月5日、津和野太鼓谷稲成神社主催の「神田禮祭」が、同町名賀の農事組合法人なよし（木村大輔代表理事）が管理する田んぼで行われました。

地元の人達、津和野町やJA関係者ら20人のほか、早乙女に扮した地元高校生ら16名が参加しました。

神事、巫女舞の奉納につづき、参加者が12aの田んぼの一部に、一列に並んで苗を植え五穀豊穡を祈りました。

秋には「抜穂祭」を行い、刈り取った米を神社に奉納する予定です。



## 1日農業バイト『デイワーク』の説明会を開催



J Aしまね西いわみ地区本部は、4月19日、農業者と農作業をしてみたい人を繋げるアプリ「1日農業バイト『デイワーク』」の操作説明会を開催し、園芸農家や関係者ら20人が出席しました。

説明会では、はじめにアプリを運営する鎌倉インダストリーズ(株)の福田哲也氏より、本アプリの実績や利用方法、トラブル事例などの説明があり、出席者は熱心に耳を傾けていました。出席者からは、「源泉徴収票が発行できるのか」「交通費も支払う必要があるのか」などの質問がありました。

また、本アプリを農業者が使用する際には、労災保険または労災保険に準ずる保険の加入が必須となるため、J A共済の商品説明を共済課職員が行いました。

当地区本部では、農作業の労働力不足が深刻化している中、解消の一助として本年度より本アプリの普及活動を開始します。

## 施設園芸への挑戦

益田市遠田町の可部泰成さん(23歳)は、2020年3月に島根県立農林大学校有機農業専攻を卒業し、同市横田町の遊休ハウス4棟(33a)を借り受け、メロン、トマトの施設園芸に取り組む新規就農者です。

可部さんは卒業後、2年間同市飯田町の渋谷陽平さんから栽培技術の指導を受けながら、就農に向けて経営計画や遊休農地等の情報について、益田市農業担い手支援センターに相談し、その後島根県農業振興公社農地中間管理機構の仲介により、現在の4棟のビニールハウスを借り受けることができました。



2022年秋からハウスと周辺の除草や整備を行い、今年3月下旬にトマト苗1,400本、4月上旬にメロン苗1,000本の定植を終えました。

春作物の収穫後は、葉物、秋作メロンの生産に取り組む計画で、「まだまだ学ぶことが多く不安はあるが、渋谷さんや部会の先輩に教わりながら、なるべく早く安定して良いものが出来るように頑張りたい。初めてのメロン・トマトがどんな仕上がりになるのか楽しみ」と、手を休めることなく意気込みを語りました。





# まちむらネットワーク

農業者と農作業をしてみたい人を繋げるアプリ  
daywork

仕事（求人）登録 ← 仕事さがしエントリー

求職者紹介 ← 農業者紹介

農業者（雇用主の方） 求職者（働きたい方）

買金の支払い 農作業

マッチング 直接やり取り可能

ダウンロード方法  
App Store & Google Playに「daywork」で検索してダウンロードしてください。

相談窓口  
JAしまね西いわみ地区本部 営農企画課  
TEL:0856-23-1911

JAしまね × daywork

## 西いわみぶどう部会 「美味しまねゴールド」の団体認証を取得

JAしまね西いわみぶどう部会（岩本和雄部会長）は令和4年度に、島根県が推奨する県版GAP「美味しまねゴールド」の団体認証を取得しました。

同ぶどう部会の青年部を中心に、令和4年9月より団体認証取得に向け取り組みを始め、令和5年1月に公益財団法人しまね農業振興公社の審査を受審し、3月に認証書を受け取りました。

「美味しまね認証」とは、島根県内で生産される農林水産物が県の定めたGAP（生産管理工程基準）に基づき生産されていることを第三者機関の判断をもとに知事が認証する県のGAP認証制度です。（島根県HPより引用）

この認証制度の上位基準である「美味しまねゴールド」は食の安全・環境保全・作業者の安全に配慮し、持続的な農業を実践する為の125項目の基準をクリアする事が条件となっています。

また、この「美味しまねゴールド」は国際水準GAPガイドラインに準拠した高い基準のGAPとなっています。「美味しまねゴールド」の団体認証取得は、西いわみ地区本部管内では初となります。





## 第8回JAしまね西いわみ女性部総会



4月24日、益田市市民学習センターにおいて、JAしまね西いわみ女性部（元岡タツ子部長）が第8回通常総会を開催しました。

開会にあたり元岡部長は「高齢化や部員の減少といった厳しい状況にある中、新たな西益田ブロック女性部の誕生や、大変好評だった手づくりハムの取り組みは、部員の新規加入にもつながる結果となり、大変喜ばしく部員皆の励みとなった。今後も部員同士の交流や親睦を通して、JAと力を合わせて楽しく活動していきたい」と挨拶しました。

その後の議事において、2022年度活動報告や2023年度の活動計画など3議案を承認し、第4号議案役員改選では、執行部提案を満場一致で承認し新体制がスタートしました。

総会終了後にレクリエーション協会の積田会長を講師に招き、来賓を含む出席者全員で楽しい時間を過ごしました。

## 津和野町 農業青年クラブ餅つき即売

津和野町農業青年クラブ（齋藤優作会長）は5月15日、津和野太鼓谷稲成神社春季大祭に合わせて、JAしまね津和野支店前で餅つきの実演販売を行いました。

45キロの地元津和野産のモチ米を使用し、青年クラブの会員が代わるがわるつき上げた餅を、待ち構えた女性部との連携で素早く餡子餅や草餅などに仕上げていました。

この日を楽しみにしているお客様もあり、事前の予約や、ついでに傍から注文が入り、200パック（5個入、6個入）の餅は午前中に全て完売しました。



今回は  
11月15日の  
秋季大祭





## 恒例つわのわんぱくランド田植え

津和野町農業青年クラブ（齋藤優作会長）は5月17日、わんぱくランドの田植えを行いました。

この日は町内の4保育園の園児30人と保護者や保育士、関係機関の職員も参加し、津和野町田二穂の米原孝男さんの水田11アールにヤシロモチの苗を植えました。

恒例となっているこの取組みは、自然の中で土に触れ、米づくりの一端を体験することで、農業や農産物への関心を持ち、自然環境の素晴らしさを実感してもらうことを目的に開催しています。

初めは田んぼに入ること躊躇していた園児たちも、渡された苗を手に一列に並び、手足の汚れを気にすることもなく、楽しそうに田植えを行っていました。

その後園児たちは齋藤会長が運転する田植え機に乗って、機械による田植えの速さも体験していました。



今後は、秋の稲刈り体験、冬の収穫祭へと続きます。

## 自転車交通安全運転教室

J A 共済連とJ

A しまね西いわみ

地区本部は、5月

12日に島根県益田

警察署の協力のもと

と益田市立横田中学校グラウンドで横

田中学校の生徒をはじめ、西益田小学

校の3、4年生も参加して、自転車の

交通安全教室を開きました。



この教室は、危険な自転車走行に伴う交通事故の再現スタントを実施することで、日頃から気軽に乗っている自転

車事故の怖さや、交通ルールの大切さを学んでもらうことを目的に、J A 共済の交通事故対策活動の一環として取り組んでいます。

挨拶でJ A しまね西いわみ地区本部の田村清己本部長は「私

もスキーをしますがその際もヘルメットを必ず着用しています。なぜならヘルメットは転

倒の際、大切な頭の中を衝撃から守ってくれ

るからです」と自らの体験をもとにヘルメッ

トの重要性について話しました。

自転車の危険運転や、交差点等の死角に

よって起こる様々な事故の再現スタントに、

初めは笑顔だった生徒たちも、一瞬の出来事に

「キヤー危ない」など大きな声で驚き、改

めて交通ルールを守ることの重要性を再認識

していました。





## J Aしまね信用・共済事業優績表彰式



令和4年度信用・共済事業優績表彰式が、4月28日大社町「大社文化プレイス」で開かれ、J Aしまね各地区本部の金融・共済担当職員が参加しました。

西いわみ地区本部からは、滝元英二統括支店長をはじめ10人が参加し、優秀な成績を挙げた職員・店舗に対し賞状が授与されました。受賞内容は次のとおりです。

【信用事業 渉外奨励優績者表彰】

複合渉外の部第1位  
有田 桜さん

(六日市支店金融共済課)

【共済事業 優績L A表彰】

ニューパートナー部門賞  
宮内 猛虎さん

(益田中央支店渉外推進課)

長期基盤いえ保障部門賞

澄川 一浩さん

(西いわみ統括支店共済課)

【信用事業 店舗競励優績店舗表彰】

調達部門第8位 六日市支店  
運用部門第5位 益田中央支店  
決済部門第4位 益田中央支店

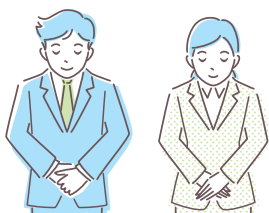
同第8位 西益田支店

【信用事業 店舗競励

優績ローンセンター表彰】

セット推進部門第2位

西いわみ地区本部ローンセンター



## グリーンセンター展示会開催



J Aしまね西いわみ地区本部益田グリーンセンターは、農作業シーズンを目前に控えた4月21日、22日の2日間、水稲肥料・農薬など農業用資材の販売をはじめ、トマト、ナス、スイカなど定植適期に育った苗の即売を行いました。この日を楽しみに来場された皆様には、色々な種類の苗をご購入いただき大変喜んでいただくことができました。

刈払機や管理機といった小型農機具の展示コーナーでは、立ち寄られた皆様へ新機種の改善点など担当者が分かりやすく説明を行っていました。

また、4月22日にはそば打ち教室を開催し、お子様連れの家族をはじめ、多くの来場者の方にそば打ちを体験していただきました。田村清己本部長がそば打ちの手ほどきを行い、出来上がったそばをその場で茹で上げて他の来場者の方にも振る舞い、皆様から大好評をいただきました。

2日間の来場者は約550人で、大変多くの商品のご購入をいただきました。多くの皆様にご来場いただき、盛大な展示会となりました。





# 水稲



## 水稲穂肥講習会資料

J A しまね 西いわみ地区本部 営農経済部 米穀課  
 島根県西部農林水産振興センター 益田事務所

### ○出穂前日数の判定

幼穂長	出穂前日数
0.5mm	26日前
2.0mm	20日前
5.0mm	18日前
10.0mm	15日前

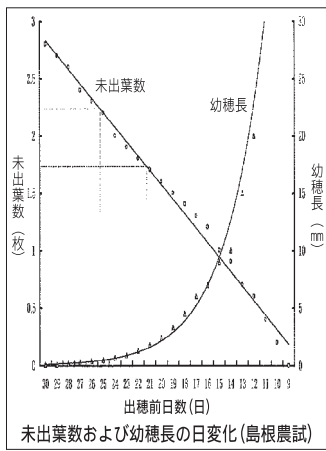


**1 適正な穂肥時期と施肥量の判定**  
 1 粗数を抑えて栄養不足の米(乳白・基部未熟)をなくしましょう!  
 (1) 出穂期の予測  
 (出穂期: 圃場全体の40~50%が出穂した時期)  
 圃場中央の平均的な株から大きな茎を抜き取り、幼穂の長さを測る。

- 1 一等米比率を高めるためのポイント**  
 ↓適切な穂肥時期と施肥量の判定  
 ↓過剰施用は粗数過多の原因となるので注意!
- 2 適切な水管理**  
 ↓間断灌水を行い、充実の良い良質米生産に努めましょう!
- 3 カメムシ対策の徹底**  
 ↓出穂10日前までの草刈りと出穂後の防除を徹底しましょう!
- 4 適期刈り取りの励行**  
 ↓刈遅れによる乳白・胴割粒の発生を防ぎましょう!

### ○生育時期と穂肥の効果

施肥時期	穂肥の効果
25 出日前穂	有効茎歩合を高める。一穂粗数を増加させる。止葉、下の節間が伸びる時期なので倒伏の危険性が増える。 ⇒コシヒカリではこの時期の穂肥は行わないようにする。
18 出日前穂	籾の退化を防止し、粗数の確保を図る。籾殻を大きくする。下の節間の伸びは止まっているので、倒伏の心配も少ない。 ⇒穂肥時期の本番
10 出日前穂	米粒を太らせ、千粒重を増加させる。穂揃いをよくする。穂ばらみ最盛期の時期。 ⇒この時期にムラ直しを行う。



(2) 穂肥施用量の判定  
 ○ 茎数と葉色の判定  
 出穂25日前(幼穂長0.5mmの頃)の茎数と葉色を調べる。  
 茎数が多い場合や葉色が濃い場合は、施用時期を遅らせるか控える。

### ○穂肥時期と量のめやす

品種名	1株茎数	葉色	穂肥の時期と量のめやす
コシヒカリ	20本以上	濃い(5以上)	施用しない
		やや濃い(4~4.5)	出穂15日前に7kg
		薄い(3.5以下)	1回目:出穂20~18日前に7kg 2回目:出穂10日前に7kg
	20本未満	濃い(5以上)	出穂15日前に7kg
		やや濃い(4~4.5)	1回目:出穂20~18日前に7kg 2回目:出穂10日前に7kg
		薄い(3.5以下)	1回目:出穂20~18日前に10kg 2回目:出穂10日前に10kg
きぬむすめ	30本以上	濃い(5以上)	出穂15日前に10kg
	25本以上	やや濃い(4.5以上)	1回目:出穂20日前に7kg 2回目:出穂10日前に15kg
	22本以上	薄い(4以上)	1回目:出穂20日前に15kg 2回目:出穂10日前に15kg

※葉色の数字はカラースケール値

### 2 適切な水管理

早期落水は乳白粒や基部未熟粒、胴割粒の発生要因となるので注意!  
**出穂後25日間は間断灌水を行い、水不足にならないよう注意!**  
 (1) 中干し終了後、穂ばらみ期↓間断灌水  
 (2) 穂ばらみ期↓穂揃い期↓湛水状態(田に水分がある状態を保つ)  
 (3) 出穂後25日間↓間断灌水(米の形が決まるのは出穂後25日頃)

### 3 カメムシ対策の徹底

カメムシによる斑点米は、1,000粒中に2粒(0.2%)以上あれば等級低下。  
 (1) イネ科雑草の除草(出穂10日前までに刈り終わることが重要)  
 草刈りを行うことで水田周辺から工サとなる植物を減らすことが重要。  
 一斉草刈り、一斉防除等の集団的な取り組みがより効果的。  
 (2) 水田での防除  
 斑点米を防ぐには**乳熟期~糊熟期の防除が重要**。  
 適切な防除を行えば、農薬の効果は十分得られる。

### ○防除体系(基本)

薬剤名	適用病害虫名	使用量	使用時期
ビームトレボン	いもち病	3~4kg/10a	収穫7日前まで
粉剤5DL	カメムシ類	4kg/10a	収穫7日前まで
スタークル粉剤DL	カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで

### ○防除体系(粒剤)

薬剤名	適用病害虫名	使用量	使用時期
コラトップ粒剤5	穂いもち	3~4kg/10a	出穂30日前~5日前まで
リンパー粒剤	紋枯病	3~4kg/10a	収穫30日前まで
スタークル粒剤	カメムシ類	3kg/10a	収穫7日前まで

※農薬の使用に当たっては、使用方法を確認し、誤使用しないようにしましょう!  
 ※病害虫は主要なもののみを記載しています。その他の病害虫は各農薬の適用表を参照してください。  
 ※5月12日 農林水産省 農薬登録情報提供システムにより確認

### 4 適期刈り取りの励行

刈遅れになると乳白や胴割粒が増えるほか、玄米のツヤがなくなる。  
 品質面では、刈遅れになるより早刈りが品質が良くなる。



令和5年産米

# 穂肥講習会スケジュール

月日	時間	地区	場所
7月3日 (月)	9:30~	美濃	美濃公民館
	11:00~	二条	(旧)二条事務所会議室
	13:30~	中西	中西事業所会議室
	15:00~	小野	戸田：四ツ辻圃場付近
	9:30~	西益田	小俣賀ゲートボール場
	11:00~	西益田	白岩多目的集落センター
	13:30~	西益田	向横田 椋木氏ハウス付近
	15:00~	西益田	大滝集会所前
7月4日 (火)	10:00~	安田	下遠田お宮前
	13:30~	北仙道	北仙道農事組合法人事務所前
	15:00~	種	(旧)種事務所前
	9:00~	津和野	山下倉庫前
	10:30~	津和野	倉増氏圃場前
	13:30~	日原	日原コイン精米所前

月日	時間	地区	場所
7月5日 (水)	10:00~	鎌手	(旧)鎌手支所
	13:30~	真砂	(旧)真砂事務所
	9:30~	六日市	六日市カントリーエレベーター
	10:00~	柿木	白谷公民館
	11:00~	六日市	朝倉東宮農組合作業場
	13:30~	六日市	広石上集落営農組合作業場
	13:30~	六日市	樋口地区集会所前
7月6日 (木)	10:00~	仙道	仙道公民館
	13:30~	都茂	美都事業所会議室



## 益田グリーンセンター

# 売り出し

### を行います!!

**日時** 7/14 金 9:00~17:00

・15 土 9:00~16:00

## 肥料・防獣対策・農薬・除草剤

# 大売り出し!!

夏物商品など様々な商品を取り揃えてお待ちしております

棚卸につき

**6/30(金)店舗休業のお知らせ**



下記の店舗での休業をご案内いたします。

- ・益田グリーンセンター・グリーンセンターひまわり
- ・グリーンセンターしろやま・柿木事業所
- ・六日市グリーンセンター

## 7月の無料年金相談会～お気軽にご相談を～

年金定期便、年金手帳、印鑑、裁定請求書、年金証書等をお持ちいただくと、より具体的な相談ができます。はじめての方や、現在受けている年金に疑問をお持ちの方もお気軽に相談でき、秘密は固く守られます。ぜひ会場にお越しください。

7月の年金相談会

**7月13日(木)益田東支店**

10:00～19:00 JA年金相談員※日程・社会保険労務士は変更になる場合があります。

西いわみ地区本部 西いわみ統括支店 金融課  
年金相談センター (0856-22-8680) は、  
平日(8:45～17:00)いつでもご相談いただけます。

# 令和5年度 経営所得安定対策等交付金の申請はお済みでしょうか？

- 経営所得安定対策では、担い手農家の経営の安定に資するよう、諸外国との生産条件の格差から生ずる不利を補正する交付金（ゲタ対策）と、農業者の拠出を前提とした農業経営のセーフティネット対策（ナラシ対策）を実施しています。
- さらに、飼料用米、麦、大豆など戦略作物の本作化とともに、地域の特色を活かした魅力的な産地づくり、高収益作物の導入・定着等を進め、水田のフル活用を図る水田活用の直接支払交付金を実施しています。



### 申請に必要な書類

- ① 経営所得安定対策等交付金申請書
- ② 令和5年産水稻生産実施計画書(本人控え)
- ③ 交付金振込先の通帳の写し

### 申請受付期間

令和5年4月下旬ごろ～

**令和5年6月30日(金)※必着**

※提出期限は、各地域農業再生協議会で異なりますのでご確認ください。



◎提出先・問い合わせ先／お近くの地域農業再生協議会まで、お気軽に問い合わせください。

益田市農業再生協議会事務局 (市農林水産課内)	☎0856-31-0316	〒698-8650 益田市常盤町1-1
津和野町農業再生協議会事務局 (津和野町役場農林課内)	☎0856-72-0653	〒699-5605 鹿足郡津和野町後田口64-6
吉賀町農業再生協議会事務局 (吉賀町役場柿木庁舎産業課内)	☎0856-79-2213	〒699-5301 鹿足郡吉賀町柿木村柿木500-1

## 5月西部子牛市場成績 (税込)

(単位：円・kg)

市町村	性別	頭数	最高	最低	平均	平均値
益田市 (益田)	雌	41	719,400	11,000	491,083	290
	去勢	52	864,600	236,500	588,845	316
	計	93			545,277	304
益田市 (美都)	雌	0				
	去勢	1	634,700		634,700	317
	計	1			634,700	317
益田市 (匹見)	雌	1	512,600		512,600	300
	去勢	2	570,900	528,000	549,450	290
	計	3			537,167	293
津和野町 (津和野)	雌	3	453,200	132,000	338,800	276
	去勢	4	662,200	642,400	653,950	368
	計	7			518,886	328
津和野町 (日原)	雌	6	661,100	531,300	590,333	331
	去勢	10	817,300	564,300	662,530	321
	計	16			635,456	325
吉賀町 (柿木)	雌	2	623,700	491,700	557,700	318
	去勢	2	585,200	448,800	517,000	300
	計	4			537,350	309
吉賀町 (六日市)	雌	1	441,100		441,100	263
	去勢	3	713,900	563,200	618,200	344
	計	4			573,925	324
西部市場 総合計	雌	59	719,400	132,000	479,543	289
	去勢	89	864,600	7,700	575,210	285
	計	148			536,678	286

## 畜産

### 5月の子牛市場

5月16日(火)に雌59頭、去勢89頭、計148頭の上場により、今年度最初の西部家畜市場が開設されました。5月から全国的に市場価格が回復基調でしたが、上場牛にバラツキが見えられたことから、平均価格で雌480千円(前回は112%)、去勢575千円(前回は83%)、計537千円(前回は99%)と、雌が前月比49千円高とやや値を上げましたが、去勢が下落し、前月比69千円安となりました。

今後も購買者に支持されるよう①発育良好な牛、②肋張りの良い牛、③肢蹄のしっかりした牛を目指して「子牛飼育方マニュアル」の実践に努めて頂きますようお願い致します。

なお、今回の市場開設日は7月18日(火)、セリ開始時間は9時30分からとなっております。出荷を予定されている方は対象牛に事故(疾病)等無いよう宜しくお願いします。





**認定補聴器技能者**

【最新補聴器の体験会】

テレビの音が大きいと言われる、何かを言われているのは分かるけど

**1級 眼鏡作製技能士**

【メガネ点検 & 視力の相談会】

ズル、痛い、見えにくい、疲れる等々  
気になることはございませんか？  
他店様でお求めでもお任せ下さいませ。

お問合せ、訪問のご相談は  
**090-6955-1612**  
移動型店舗 店長 狩野 まで

税込 **¥13,200** より

**令和5年 7月の巡回日程**

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 9時半～13時 津和野経済	11 9時～14時 美都温泉前	12 9時半～13時 匹見事業所	13 10時～13時 六日市経済	14 9時～17時 益田(展示会) グリーンセンター	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24 9時～13時 日原経済C	25 9時～12時 西益田支店	26 9時半～13時 匹見事業所	27 9時～12時 美都事業所	28 9時半～13時 柿木事業所	29
30	31 9時～13時 益田中央支店					

経済課より

シロアリ無料調査実施中!!

お客様の大切な財産を  
お守りいたします

こんなお宅は要注意

- 建物の周囲、庭先に古材がある家
- 庭先でシロアリを見た家
- 雨漏り・トイが傷んでいる家
- 羽アリが何匹か舞い込んだ家
- 近くに山がある家

私たちが同います

=(株)コダマサイエンス社員=

中川 徳行      赤松 勝

お問い合わせ先

JAしまね 西いわみ地区本部 経済課

☎0856-23-0914

取扱業者

(株)コダマサイエンス 益田市三宅町3-37

益田営業所 ☎0856-22-5390



## JAしまね 西いわみ地区本部 農業用廃プラスチックの回収について

回収実施日・時間	回収指定場所	
令和5年7月11日(火) 午前9:00～午前11:30	津和野町	J A 津和野 経済センター
		J A (旧) 山下出張所
		J A 日原支店
	吉賀町	J A 柿木事業所
		J A 六日市支店
令和5年7月25日(火) 午前9:00～午前11:30	益田市	J A 営農指導センター
		河成集荷場
		益田開発研修センター
		J A 美都事業所
		J A 匹見事業所

### 回収対象物

- 肥料・飼料等のポリ袋
- 農業用ポリエチレンフィルム(農ポリ)
- 農業用塩化ビニールフィルム(農ビ)
- あぜ波板・育苗箱等

### 処理物の分別方法 (分別にご協力お願い致します)

農業用フィルム (農ポリ)	農業用フィルム (農ビ)	肥料袋・飼料等のポリ袋	あぜ波板・育苗箱等
<p>ハウスメンブールやマルチなどの場合</p>	<p>肥料袋などの場合</p>	<p>七五折・裏返しボツボツなどの場合</p>	<p>育苗箱等</p>
<p>荷造りには、処理の際に取扱いやすいよう、10kg程度の大きさにし、縛って下さい。</p>			
<p><b>回収できないものについて</b> 処理都合上、紙製品は回収できません。入れ物として持って来られた場合でも、中身を出してお持ち帰り頂きますのでご理解ご協力お願い致します。</p>			

※委任状を書いていただきますので、必ず印鑑(引落しを行う通帳のもの)をお持ちください。処理経費(110円(税込)/kg程度)については、回収実績(重量)に応じて、後日請求いたします。

島根県農業協同組合 西いわみ地区本部・石西地域農業用廃プラスチック適正処理推進協議会

# にしいわみひろば

## 読者の川柳

お題 「あじさい」

8月のお題は「花火」です  
ご応募お待ちしております



- |               |        |        |          |
|---------------|--------|--------|----------|
| 人知れず 野山に咲いてる  | がく紫陽花  | (益田市)  | 初山 敏子さん  |
| あじさいで いつも母さん  | ありがとう  | (益田市)  | 藤井キヨ子さん  |
| いつの間に 昔のたんぼ   | 今あじさい  | (益田市)  | 和崎富久代さん  |
| あじさいの 花街道に    | 燕とぶ    | (益田市)  | 小笠原かよみさん |
| あじさいを 花屋で見かけ  | 新品種    | (益田市)  | 両見かすみさん  |
| あじさいに 癒され無事に  | 退院に    | (益田市)  | 村上登美子さん  |
| 空見上げ 雨ふりまつか   | 額紫陽花   | (益田市)  | 大谷 恭子さん  |
| ハイキング あじさい街道  | 元気良く   | (津和野町) | 日熊 春子さん  |
| 山にがく 紅も美し     | あじさいの花 | (津和野町) | 潮 恵子さん   |
| あじさいが 宝石まとうよ  | 雨あがり   | (津和野町) | 大庭百合子さん  |
| アジサイを のらりくらりと | カタツムリ  | (津和野町) | 斎藤 久衛さん  |
| 色鮮やかな あじさいロード | 駆けてゆく  | (津和野町) | 桑原八恵子さん  |
| 土質で 美事に七変化    | あじさいの花 | (津和野町) | 大羽 克己さん  |
| マスクなし あじさいロード | にぎやかに  | (津和野町) | 中野 健二さん  |
| 降りそそぐ 雨にあじさい  | いきいきと  | (津和野町) | 高谷喜里栄さん  |
| アジサイは 高慢だって   | 問い掛ける  | (吉賀町)  | 河野 君江さん  |

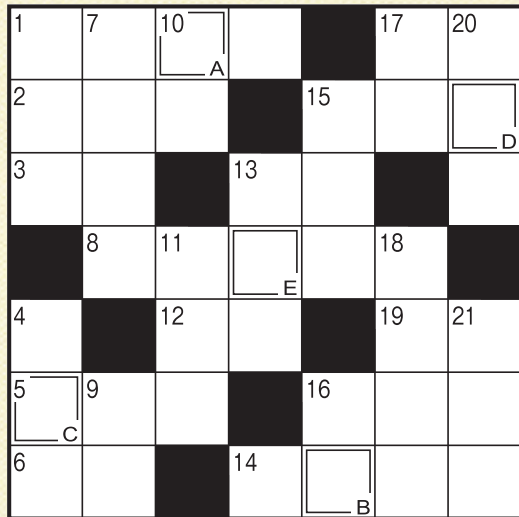
川柳「あじさい」の投稿数 津和野町13通、吉賀町1通、益田市12通

川柳 応募方法 ●葉書に 川柳、住所、氏名、電話番号をご記入ください。●締切 令和5年7月15日(当日消印有効) ●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 ふれあい課



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- ①河島英五のヒット曲『酒と泪(なみだ)と——と女』
- ④長針、短針、秒針が付いているもの
- ⑦元素記号はLi。電池にも使用される金属です
- ⑨騎手が騎乗時に持つもの
- ⑩手首と肩の間にある関節
- ⑪本に挟みます
- ⑬まだ夜が明けきらない頃のこと
- ⑮種から芽が出ること
- ⑯虫よけのために寝床の周りにつるします
- ⑰定規を当てて引くことも
- ⑱高校球児たちが地方大会で——を繰り広げています
- ⑳トップ・——・ボトム
- ㉑駅の券売機で買います

ヨコのカギ

- ①七夕伝説のヒロイン
- ②青島幸男氏や石原慎太郎氏が務めました
- ③手のひらや足の裏の反対側
- ⑤蚊取り線香から立ち上るもの
- ⑥——を聞いて十を知る
- ⑧ルーベともいいます
- ⑫兄弟姉妹の息子のこと
- ⑬チョウが花を巡って吸うもの
- ⑭テントを張ったりして野外活動を楽しみます
- ⑮——タオル、——ソープ、ゴッド——
- ⑰一時的に建てるもののこと。——住宅
- ⑱アブラ、クマ、ミンミンといえ
- ⑲地球の衛星です

応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

● 賞品

正解者の中から抽選で40名（J Aしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先・締切

〒698-0024 益田市駅前町15-1

J Aしまね 西いわみ地区本部 ふれあい課 「クイズ」係  
2023年7月7日（金）（当日消印有効）

・先月号は、西いわみ地区本部管内で54人の方からご応募いただきました。

◆ 先月号の答え ◆

「ミスマシ」



川柳の広場

最優秀賞

あてにされまだ余生とはゆかぬ農

益田市 伊藤世子様

（評）余生をゆつくりと過ごそうと思っていたのに、まだまだあてにされている。子どものためにもまだ頑張らないといけない。

優秀賞

懐をずばっと抉る物価高

出雲市 加本 精一様

瀬戸物に時がしみ込みい感じ

江津市 古今 里様

したつもりやったつもりで今日が過ぎ

隠岐の島町 上川 晃一様

佳作

ランチする庭に子鳥の来て遊ぶ

物価高に財布は軽く気は重く

物価高血圧までも上がりま

桜散り汗ばむ陽気もはや夏

今日もまたお世話になって日が暮れる

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」7月号定価 922円

ご購入は、お近くのJAへお問合せください。

「家の光」7月号定価 922円



選句者 島根県川柳連盟会長 竹治ちかし先生

J Aしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）7月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

**応募方法**  
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。  
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。  
※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。  
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

**あて先**  
〒690-0887 松江市殿町19-1  
J Aしまね ふれあい福祉課  
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」  
F A X : 0852-67-7708  
Eメール: fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。



・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。




定期貯金

# サマキアペ 2023

**キャンペーン期間 2023.6.1(木) ▶ 7.31(月)**

① 10万円以上新規または増額で定期貯金をご契約されると抽選で合計 **580名** 様にご希望のコースの鳥根の**特産品をプレゼント!**

しまね和牛(焼肉用)



**Aコース** (100名様)

プレミアムスパークリングローズ6本入り



**Bコース** (120名様)

多夏の里みそ加工品詰め合わせセット



**Cコース** (120名様)

甘柿の干し柿(スライスカット) 6袋とお茶セット



**Dコース** (120名様)

藻塩3点セット



**Eコース** (120名様)

**② Wチャンス/大口**  
 ①に外れた方のうち、**100万円以上新規または増額**でご契約の方には抽選で **150名** 様に**「農協商品券1000円分」をプレゼント!**

**③ Wチャンス/ATMまたはネットバンク**  
 ①、②に外れた方のうち、**ATMまたはJAネットバンク**からお預入れの方には抽選で **70名** 様に**「農協商品券1000円分」をプレゼント!**



キャンペーン期間中、10万円以上新規または増額で対象の定期貯金をご契約いただいた個人の方へ**「よりぞうBOXティッシュ」**を**先着2,500名様**にプレゼント!

※写真はイメージです。※品切れの場合は他の粗品に代えさせていただきます。



ATMまたはJAネットバンクからご契約された方はお近くの支店にその旨を申し出ていただくことで粗品をプレゼントいたします。くわしくは、お近くの支店までお問い合わせください。

**応募対象者** / ①期間中、対象商品を新規または増額で10万円以上契約された個人の方。(期間1年以上)  
 ②Wチャンス/大口  
 ①に外れた方のうち、対象商品を新規または増額で100万円以上契約された個人の方。(期間1年以上)  
 ③Wチャンス/ATMまたはネットバンク  
 ①、②に外れた方のうち、対象商品をATMまたはJAネットバンクからお預入れされた個人の方。(期間1年以上)  
 ※キャンペーン期間中にATMまたはJAネットバンクから定期貯金(期間1年以上)を新規または増額で10万円以上契約された方は自動的に本キャンペーンの対象となり、Aコースに応募したものとします。

**抽選権の失効** / 抽選日の前日までに対象商品が中途解約されていた場合、抽選権は無効となります。

**当選発表** / ご当選された方に対し、当選通知をお送りいたします。賞品は随時発送させていただきます。

**個人情報の取扱** / 取得したお客様の個人情報は賞品の抽選・発送のためにのみ使用します。





**自然災害は毎年やってきます。**  
**令和4年も、7月の豪雨、9月の台風により鳥根県でも多くの被害が発生しました。**

たくさんのお役立ちができました!

**令和4年7月豪雨および9月台風(台風11号・14号)における共済金支払実績**

<b>件数</b> 765件	<b>共済金約</b> 2億4,896万円
----------------	-----------------------

令和5年3月末時点、JA共済連鳥根調べ

自然災害発生前に、『今一度』建物・家財の保障内容を確認しましょう!

**自然災害(特に一部損壊)に充分備えられる**保障内容となっていますか?

**家財・家具**も保障の対象となっていますか?

**未保障の建物や物件**はありませんか?

ぜひ、お近くの支店・LA(ライフアドバイザー)までご相談ください!

**JAしまね『いえ保障点検運動』実施中!**

この資料は概要を説明したものです。詳細については「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。  
[23320320100]

**自然災害**  
**シーズン到来!**

自然災害への備えは  
 万全ですか?



本誌は地球環境に優しい植物性インクを使用しております。



## 長芋と竹輪のふわふわ焼



### コメント

- ・長芋がベースなのでふんわりと仕上がります。
- ・あともう一品という時、簡単にできて便利です！

### 材料 (4人分)

- A
- 竹輪……………5本
  - 細ねぎ……………2～3本
  - 塩昆布……………5g
  - 片栗粉……………大さじ1
  - 長芋……………200g
  - 片栗粉……………大さじ5
  - サラダ油……………小さじ2
  - ポン酢……………お好みで

### 作り方

- ①竹輪は厚さ5ミリの輪切りにする。細ねぎは小口切りにする。
- ②ボウルにAを入れてザックリと混ぜる。
- ③②のボウルに長芋をすりおろしながら入れ、片栗粉も加えてよく混ぜ合わせる。
- ④フライパンに油を熱し、③を流し入れて中火で焼き、焼き色がついたら、ひっくり返して反対側も焼く。
- ⑤④を切り分けて皿に盛り、好みでポン酢をつけて食べる。

### アレンジ

- ・細ねぎの代わりにオクラ、ピーマン、枝豆など夏野菜に替えてもおいしいです。
- ・チーズやちりめんじゃこ、干しアミエビを入れてグレードアップ！

### 材料 (4人分)

- A
- 生姜……………100g
  - 豚ひき肉……………50g
  - 砂糖……………小さじ1
  - 酒……………大さじ2
  - みりん……………大さじ3
  - しょうゆ……………大さじ2
  - ごま油……………小さじ1
- 温かいご飯  
…… 4膳分 (米2合分)

### 作り方

- ①生姜は3cmの長さに細せん切りにして、熱湯でさっと茹でてざるにあげる。
- ②フライパンにごま油を熱し、豚ひき肉を入れて中火で炒める。
- ③肉に火が通ったら、生姜を加えサッと炒め、Aを加えて汁気が少なくなるまで混ぜながら煮る。(汁は少し残す)
- ④温かいご飯と③を混ぜ合わせて、茶碗に盛る。

### コメント

- ・冷房が入りだす季節です。夏の冷え対策に生姜で「食べる温活」を！
- ・生姜をたっぷり使う場合、そのままだと辛みが強いので、熱湯で下茹でします。

### アレンジ

- ・生姜の茹で汁は炭酸で割って少し甘みを加えるとジンジャーエールとしておいしくいただけます。
- ・汁気を全部飛ばしてふりかけ風にするると保存も可能です。

## 生姜たっぷりそぼろご飯



## 健康散歩

## 水を飲もう！

JA島根厚生連

「健康のため水を飲もう」推進運動を知っていますか？ 私たちのからだの60～65% (成人の場合) は水分で作られており、水の摂取量が不十分な場合、熱中症や脳梗塞、心筋梗塞などの健康障害のリスク要因となることがあります。その予防のために水分補給をしようという厚生労働省が提唱している運動です。からだと水の関係を知って健康なからだを手に入れましょう。

体内の水分の主な働きは、胃液など消化液による栄養素の分解や消化吸収、血液などによる酸素や栄養物質の運搬、発汗作用などによる体温調節です。体内の水分を5%失うと、脱水症状や熱中症などの症状が現れます。10%失われると、筋肉の痙攣や失神などの循環不全が起こり、20%失われると死に至る場合があります。

普通に生活しているだけでも、尿や汗などにより1日に平均2.5ℓもの水分が失われています。しかし、食事や体内でつくられる水の量は1.3ℓと言われており、残りの1.2ℓは飲料水として摂取する必要があります。意識しなくても喉が渴けば水分をとっていると考えるかもしれませんが、喉の渴きを感じた時にはすでに脱水がはじまっています。

そのため、渴きを感じる前に意識的に水分をとることが大切です。

水分補給と聞いた時に、ビールなどのアルコールやコーヒーなどのカフェインを含む飲み物を思い浮かべた方も多いと思います。しかし、アルコールやカフェインは利尿作用があり、飲んでも体外へ排出されてしまいます。例えば、ビールを10本飲んだ場合、通常より尿の量を増やし、11本分の水分を排出してしまいます。また、スポーツドリンクは汗をかいた時に失われるナトリウムなどの電解質が含まれており運動時などには良いですが、糖質やカロリーも含まれるため摂取量には注意が必要です。

私たちは入浴中や就寝中にもたくさん汗をかいているので、水分が不足しがちです。日頃からこまめに水分をとることが大切ですが、まずは「目覚めの1杯」「寝る前の1杯」のプラス2杯の水をとる習慣を取り入れて、元氣な毎日を過ごしましょう。



【編集後記】 雨が多い、蒸し暑い…など過ごしやすいつとは言い難い梅雨の季節がやってきました。梅の実が熟す頃に降る雨だから「梅雨」と呼んだ説があるのだそう。我が家にも梅の木があるので、毎年この時期には家族みんなで収穫しています。今年は雨や風で実が落ちないといいな～と願っています◎

JAしまね  
公式ホームページ  
JAしまね  
Q検索



2023年6月13日付発行 (月1回発行)  
編集 / JAしまね ふれあい福祉課・西いわみ地区本部  
発行 / 島根県農業協同組合 西いわみ地区本部 ふれあい課  
〒698-0024 益田市駅前町15-1 TEL.0856-22-1589 FAX.0856-23-0788